

「子どもは遊びで育つ！～地域で取り組む子どもの遊び～」

1 趣 旨

- ・未就学児に関わる指導者を対象に、発達段階に応じた運動遊びを中心としたプログラムの視察、研修の機会を提供する。運動の楽しさが実感できたり、動きの質を高めたり、運動遊びの工夫や場づくりについて考える機会をもつ。
- ・島根県立青少年の家が開催する幼児プログラム「にんにんチャレンジ」の視察・研修を通して、外遊びの重要性や遊びながら獲得していく運動・体力に関する理解を深める。

2 事業の概要

- (1) 期 日 平成30年11月23日(金)
(2) 会 場 島根県立青少年の家(サン・レイク)
(3) 参加者 20名
(4) 講 師 安部 孝文(島根大学 研究・学術情報機構 地域包括ケア教育研究センター)
(5) 日 程

9:30	9:50	10:00	11:00	12:00	13:00	14:30	16:00	16:20
受付	開会行事	視察① 事業の紹介	研修① 講義	昼食・休憩	視察②	研修② 協議	閉会行事	解散

- ・視察① オープニング(忍者修行“非日常”への動機づけ)を見学
- ・研修① 「幼児期の遊びによって養われる運動・体力、運動習慣の大切さについて」
- ・視察② 屋外、館内で忍者修行(運動遊び)を視察
- ・研修② 協議(視察や、各自の経験を踏まえてのグループワーク。講師によるまとめ)

3 事業の内容

①プログラムデザインと企画のポイント

本施設では、県内連携団体と2年間にわたり、幼児期の運動遊びに関する研修会や運動プログラムの開発を行ってきた。今年度は、連携する島根県立青少年の家の宿泊プログラム「にんにんチャレンジ」の視察と研修会を実施した。この事業は、多様な運動遊びを体験できたり、規則正しい生活習慣について学んだりできることから、毎年多くの参加者を集めている。視察や、それに関わる研修、協議の機会をもつことで、幼児教育に関わる指導者にとって有益な学びの機会となると考え事業の企画を行った。

②運営のポイント

参加者が様々な運動遊びや場づくりの様子を見学することができ、また、互いに気づきや考えを共有して、今後の活動に活かすことができるよう、視察、協議の時間を計画的に配置した。講義においても、視察した内容に基づいて理論を学ぶことができるようにしたり、各地の幼稚園、保育園の実践例を幅広く知ることができるようにしたり、各自の研修成果が高まるよう、講師との打ち合わせを入念に行った。

4 参加者へのアンケート結果

(1) アンケートの集計

(%)

	満足	やや満足	やや不満	不満
講習の内容・方法	100	0	0	0
新しい知識・技術の習得について	85	15	0	0
運営面	90	10	0	0

(2) 参加者の声

- ・子どもたちが忍者になりきり、ストーリーの中に入り込むことで、楽しさややる気が高まるのだと思った。環境や仕掛けの大切さ、工夫を学ぶことができた。
- ・身近にあるもので環境構成を考え、上手に使うことで、子どもの遊びが広がったり、深まったりすることを、目でしっかり見て、感じる事ができた。月曜日から園に戻り、すぐにできることからどんどん取り入れたい。
- ・安部先生の講義や、皆さんとのグループワークのおかげで、新たな視点や学びにつながる充実した時間となりました。
- ・施設職員と保育士、幼稚園教諭がグループで話し合い、一緒に活動ができて気づきが大きかったです。今後とも関わりを持てれば、と思います。

5 成果と課題

《成果》

- ・子どもが実際に活動する様子を視察する時間、参加者が互いに協議する時間、関連する理論や実践事例を学ぶ時間を、効果的に取り入れることで、学びの多い事業にすることができた。持ち帰って活かすことができる事柄も多く、受講者からも肯定的な意見を得ることができた。
- ・約10年続く事業「にんにんチャレンジ」の初めての視察の機会となり、以前から当事業に興味をもっていた参加者も多く喜ばれた。また、主催施設の職員にとっても、事業に対する意見や感想を受け取る機会となった。翌週には、再度講師を招き、連携団体の職員の研修や、事業の振り返りを行った。

《課題》

- ・他の研修会や園の行事と日程が重なるなど、参加者が予定に満たなかった。「にんにんチャレンジ」開催日に合わせて実施したため、変更はできなかったが、今後もより多くの参加者が募ることができるよう、実施時期、内容など、連携団体で見通しをもって取り組んでいきたい。
- ・この3年間で、3カ所の公立青少年教育施設を会場に事業を行い、未就学児に関わる指導者に対して学びの機会を提供してきた。個々の参加者からは好評を得ているが、各施設が日頃から幼稚園や保育園との連携を強め、同時に市町村教育委員会や子育て支援部局に対し、この取組の成果について広報を拡大する必要がある。



運動遊び (室内)



運動遊び (屋外)



協議

(担当：企画指導専門職 武田 尚志)